

甲南第二小学校

令和2年度 我が校の学ぶ力向上策(実施計画)

【市 目標】

○授業改善と家庭学習の充実に向けた取組を両輪で進めることにより、学ぶ力を高め、確かな学力を育む。

【学校 目標】

○『こうか授業術』の徹底、思考力をささえる基礎学習の徹底を図り、基礎・基本的な知識・技能の活用力を高める。
○学びのルールの徹底と環境づくりを深め、「学びたくなる学校」の創造。

【現状と課題】

○視点1 学習に対して受動的な児童が多い。その弱みを意識した授業改善が必要。自分の考えを持ち、書きまとめ、発信する力が必要。
○視点2 学級の雰囲気づくり、人間関係づくりはできているが、その反面、人間関係が固定化しがちで、学習場面でもダイナミックな学び合いにつながりにくい面がある。
○視点3 単学級であるため、教師も授業参観や学び合いがしにくい環境である。

取 組		
視点1	視点2	視点3
学びを実感できる授業づくり	学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり	子どものために一丸となって取り組む学校づくり
<p>【取組事項】</p> <p>○「こうか授業術」を柱とした主体的・対話的で深い学びの促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴールを明確にした単元・授業の展開 ・考えをまとめ、発信する力の向上と話し合い活動の充実 ・漢字や計算の基礎学習とキーワード作文や定型作文、100字作文の継続実施 <p>○家庭学習の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣の見直し(家庭との連携) ・家庭学習(予習)の奨励 	<p>【取組事項】</p> <p>○自尊心を高める学級づくり・学習基盤づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学びのルールを徹底し、全校統一した授業形態。(こうか授業術の更なる徹底) ・ていねいなリフレクションでの学習意欲の持続と高揚を図る。 ・学ぶことの意義づけを明確にする。 	<p>【取組事項】</p> <p>○本校児童の学ぶ力における課題を明らかにし、取組を具体化し、共通実践を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・OJTで指導案検討会を行い、チームで授業を考え、教職員の授業力向上を図る。 ・「学習環境部」で学びの軌跡が蓄積できるような掲示等、学びを楽しむ環境づくりに努める。 ・研究の方向性や研修会で学んだ情報、研究授業の成果などを共通理解・共通実践につなげる。

その他 取組事項

自ら探求できる学習の実践と蓄積を行い、学び確認テストにより検証を行う。
カリキュラムマネジメントシートの見直し、学校評価を通じ、6年間のつきたい力の検証を行う。

取組の評価

※プランに示した数値目標は、県教育委員会の取組の指標です。学校の評価指標は、それぞれの課題等の状況に応じて設定することが重要です。

	取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
全体		学びの基礎チャレンジで県平均に近づける。県との比較を5ポイント以内にする。		
視点1	ゴールを明確にした単元・授業の展開(やる気を持続するために)	・毎学期に子ども・指導者アンケートを行い、成果を確認する。(よく分かる90P以上に)		
視点1	漢字や計算の基礎学習とキーワード作文や定型作文、100字作文の継続実施	・漢字音読名人の進捗、達成率を図る。 ・写すノートから考えまとめるノートへの変化を検証する。		
視点1	基本的な生活習慣の見直し(家庭との連携)家庭学習(予習)の奨励。	・ノーマディアデー・タイムを啓発し、毎学期に子ども保護者アンケートを行い成果を確認する(肯定的な回答を60%以上に) ・家庭学習について毎学期に子ども・指導者アンケートを行い、成果を確認する。(家で進んで学習しています85P以上に)		
視点2	自尊心を高める学級づくり・学習基盤づくり	・QUTテストで成果を確認する。(クラスでみんな仲よく協力8、人と色々なことをするのが楽しい9)のポイントを85P以上に		
視点3	本校児童の学ぶ力における課題を明らかにし、取組を具体化し、共通実践を図る。	・毎学期の学校評価(自己評価)における「継続と反復により達成感を味わえる学習の展開」の肯定的な回答を80%以上		

評価:【達成状況 90%以上→A 70%以上90%未満→B 70%未満→C 時期→1回目:9月 2回目:2月】

今年度の取組の課題

--